



勝高生がしっかりした進路目標を定め、進路実現をするための、進路応援通信

☆「志望理由書」の書き方について - 1 -

大学、短大、専門学校等の入試で提出が求められる「志望理由書」は、読んで字のごとく、その学校を「志望」する「理由」を書いた文「書」です。

ですから、「将来就きたい職業」の理由やその「きっかけ」をずるずると書くだけでは、その学校への「志望理由書」になりません。「将来就きたい職業」やその「きっかけ」は大切ですが、それだけでは学校への「志望理由」にはなりません。

『なぜ、その学校に入学したい』のでしょうか。

もちろん、将来的な夢(目標・職業)を実現させたいためですね。大学入学だけを夢(目標)にしてしまっただけでは、その先が見えませんから、「志望理由書」など到底書けません。

ゆえに、「志望理由書」には、「その学校で学んで、どのような職業に就きたいか。さらに、その職業に就いた後は、どのような役割を果たし、社会貢献していきたいか。」を具体的に書く必要があります。あるいは、「ある職業に就きたいから、それについてより良い学びができる学校を選んだ」という書き方でもいいでしょう。少なくとも、「今は、何もやりたいことがないから、やりたいことを大学で見つけたい」などと「目標の先送り」をしないでください。将来的に目標は変化することもあるでしょうが、現段階での目標を定め、「志望理由書」には、それについて書くことが大切なのです。

そして、「その学校で何をどのように学びたいか(①どのカリキュラムに魅力があるか、②どのような教育システムが魅力的か、③心惹かれる教育環境はどのような所か)等」を考え、それらについて、自分なりの考えを記載していくのです。

- ① の例には、「災害看護学講座」等の具体的カリキュラム名を上げる方法があります。
- ② の例には、「小人数教育」とか「留学制度の充実」などが挙げられます。
- ③ の例には、「豊かな自然環境のもとで学べる」「最先端の工学機器が導入されている」、「付属の病院施設で十分な実習経験が積める」などがあります。

当たり前のことですが、上記の内容をしっかりと書くためには、「志望校」に関する情報が絶対に必要になります。その学校を「志望」するのは「その学校に、それ相応の魅力がある」からです。ですから、志望校の魅力を5個や6個くらい、すらすらと言えて当たり前です。私は、いつも受験生には、「志望校の魅力を最低でも10個以上すらすらと言えないようでは、その学校に受かるはずがない」と指導しています。実際に志望校の魅力を10個以上すらすらと言える生徒は、すんなりと合格しています。しかし、10個以上魅力を言うことは大変です。

それではどうしたら、その学校の魅力に気がつくのでしょうか。魅力を感じるには、相手をよく知らなければなりません。相手を知るには、相手のことを調べるしかありません。調べ方は、色々ありますが、パソコンやスマートフォンによる「ホームページ」検索や「学校案内・受験要項」の熟読が一番手堅い方法です。その学校の在校生やOBに話を聞くという方法もあります。新聞や書籍、テレビやネットニュースで志望校が取り上げられることもあるでしょう。情報に敏感になりましょう。ただし、一面的な情報には、危険もあります。一つのことについてできるだけ多面的に調べる習慣を身に付けてください。

今回は、ここまで。次号(22号)にさらなるアドバイスを記載します。

(SHIN®3 Vol.21,22は、昨年度発行のSHINを一部修正・加筆したものです)